

TSG

Theoretical Science Group

理論科学グループ

部報 307号
— 2014 年追いコン号 —

目 次

追い出される方の言葉	1
おいだされあいさつ 【夜道 / 本山裕一】	1
一般記事	4
追いコン号によせて 【levelfour】	4

追い出される方の言葉

おいだされあいさつ

夜道 / 本山裕一

2005 年度入学の夜道です。9 年間も居続けたわけですが、この度無事に博士号を取得して卒業することになったので、TSG からもついに追い出されることとなりました。思い返してみると、TSG に入った事による影響は、直接的なものから間接的なものまでいろいろあったように思えます。歴史の if を考えられるほど<s>妄想力</s>想像力は豊かではないので、入らなかつたらどうなっていたかはよくわかりませんが、少なくとも TSG では非常に楽しめたので、かなり正解に近かったのだと思います。具体的には、まず直接的には、プログラミング言語や計算機についての興味や刺激を得たこと、音ゲーや STG を始めとする¹ ゲームについて直接話せる仲間を得たこと、アニメを視聴して、お互いに感想を話す環境を得たことで、さらに間接的には、計算物理を専攻することになったことと、全ゲ連の手伝いをするようになったこと、といったところでしょうか。音ゲーは、当時 jubeat という入門には非常に楽なゲームが出たということもありますが、やはり近くに、わのひとなどのプレイヤーがいたことが大きかったと思います。今でこそ Twitter が流行り、(ゆるいなりにつながった) 他人と、不特定多数のゲームやアニメの話をだだらする機会も格段に増えましたが、当時のメインは 2ch やしたらばなどの掲示板ぐらいで、ぎりぎり mixi が流行り始めたぐらいで、そういった意味でも TSG は非常に貴重でした²。

2005 年に東京大学理科一類に入学した時、つまり高校卒業まで、自分はあまりプログラミングはやったことがありませんでしたが³、なんとなくコンピュータ系のサークルに入ろうとしていました⁴。当時、コンピュータ系サークルは TSG と UTMC の 2 つがありましたが、UTMC には中高の部活の先輩が所属していたので、ここに来てまでまた会うこともあるまい、と思って TSG を選びました。最初は、初心者分科会で Java の勉強をしていました。タートルグラフィックスという、しっぽにペンが付いた亀に命令をして絵を書くという、オブジェクト指向の教材ライブラリを使って勉強をしていました。ウィンドウに亀の動きと結果の絵が出るのでなかなか楽しく、週一の分科会ではもどかしかったので元となったテキストを部室から借りて、さっさと読み終えてしまいました。自分以外の初心者は、そもそもいたかどうかすら忘れましたが、とにかくフェードアウトしてしまったので、Java 分科会は開かれなくなりました。

¹最近 STG は、アケシューやゲーセン自体の勢力変化も相まって触れていないけれど

²iTalk という、昔の TSGer が作ったチャットシステムを使ってだだらしていた。

³部室の PC (FM77) で、BASIC を使って if と goto で分岐しまくる ADV を友人たちと作ったぐらい。ルーブなんて知らない

⁴理由は覚えていないので不明。魔が差した、ともいう。

他の分科会は開かれることなく、結局毎週情報棟に集まってネットサーフィンしたり IT⁵ 談義をしたりするだけとなりました⁶。当時の駒場には、上級生として mitty さんや Luna さん、Noo さんがいて、同級生として GoK 者やわのひと、H.H に SBS がいて⁷、下級生としては park くんや 5 以下⁸ くんなどがいて、とても楽しく分科会をしていた記憶があります。この時期には Java 以外にも、C や C++、オブジェクト指向を自習していました。

2 年生になり、編集長になり、TeX を書いたり印刷したり製本したりをしました。今はたとえば論文を TeX で書いたり、コピー本を作って有明で売ったりしているので、このあたりでの経験も多少は役に立っているのではないのでしょうか。なお、締切および外圧がないと動けないという人も少なからずいるので、編集長は早めから締切を設定して、じわじわプレッシャーをかけていくことで部報の記事を集めるとよいでしょう。特に同期が狙い目です。2 年生はたぶんきつと一般的には暇だし。

大学院では計算物理⁹ の研究室¹⁰ に所属して、ずっとモンテカルロ法の新手法の開発をしていました。先生やポスドクとの会話の半分以上がプログラミングや計算機の話だった気がするような研究室で、すごくまったりしていてとても居心地のよい研究室でした。計算物理を専攻しようとした土壌には、プログラミングや計算機に触れていたことがあるので、やはり TSG の存在は大きかったのだと思います¹¹。

話が少し前後しますが、2008 年の冬に、Cage さんを介して、UTMC や他大学のゲーム制作サークルの人たちと集まって勉強会・交流会をやりました¹²。これが第一回全ゲ連¹³ 交流会です。自分は結局学生時代にゲームを作ることなく卒業してしまいましたし、このまま行くと多分これからも作ることはなさそうですが、製作者の話を聞くのとその実況をするのがとても楽しいので、参加・運営を続けています。全ゲ連を通して知り合った人も（主に twitter 上に）いるし、講演で得た知識もあって、個人的には全ゲ連での活動もひとつのターニングポイントになっています。そして、そもそものきっかけをたどると、やっぱり TSG につながります。こういう副次的なものも含めて、TSG から得たものは大きかったんだなぁと思うと、なかなか感慨深いものがありますね¹⁴。

4 月からはポスドクとして柏に勤めることとなりますが、駒場・本郷まで 1 時間程度なので、

⁵ アニメやゲームを含む

⁶ 一応、「情報分科会」というどうとでもなるような名前はつけていた

⁷ 最初は 10 人以上いたけれど、最終的に残ったのはこのへんだけだった

⁸ 全角

⁹ 大雑把に言えば、物理学の諸問題を計算機を用いて解こうという学問。魔法戦士みたいな感じ（え

¹⁰ 物理学専攻藤堂研究室。計算機も物理も好きだという人は是非来てください（宣伝）。今の学部生が博士学生になる頃には、次世代スパコン（エクサスケール）に触れるようになっているかも知れません。なお、藤堂研は 2014 年 1 月から理物に移りました

¹¹ 計算物理の中からモンテカルロ法に興味をもった理由は忘れたけれど

¹² もともと外部においてそういうのをやろう、という話があって、TSG が（より正確には、Cage さんが UTMC のあらいげた君に）誘われた形

¹³ 全日本学生ゲーム製作者連合。当時は学生サークルが対象だったけれど、ぶっちゃけ人を集めづらかったので今では個人対象になった

¹⁴ 総長との対談や、UTMC との合同飲み会、ノンリニアとの合同飲み会など、TSG 以外が絡む思い出って大抵 Cage さんが起点なので、どちらかと言えば TSG というより Cage からの恩恵、といったほうが正しいかもしれない（え

今まで奢られたぶんを奢るためにも、来年度ぐらいは飲み会¹⁵に参加するかもしれません。あとは合宿とか。土日が嬉しいです(えー

最後にひとつお願いです。Twitter のリストとして、TSGer (だいたい1999年以降入学者)のアカウントを集めたもの(もちろん非公式)を管理しています¹⁶。「(自分—ほげほげさん)もTSGer だけど載っていない」「(自分—ほげほげさん)はTSGer じゃないけど載っている」などの、情報提供をお待ちしております。

みなさま長い間ありがとうございました。これからもよろしく願いいいたします。

¹⁵最近 ATND で申請するようになっていて、まあ便利なのですが、締切を設定した方がお互いにいいような気がします。そもそも設定できないとかいう残念設計なのかもしれないけれど.....

¹⁶https://twitter.com/yomichi_137/lists/TSGer

一般記事

追いコン号によせて

levelfour

Hello, TSGer . 13 年度入学で新 2 年副部長になりました、levelfour こと包(つつみ)と申します。今回は途中が身の上話チックになってしまいますが、ご了承くださいませ。

前回の部報(第 306 号)でなんかものすごく偉そうにやれ改革だのやれ現状だのと減らず口を叩いているやつがいたなあ… という覚えがもしあれば、それは僕のことですね。はい。お陰さまで 1 月から実際の作業にとりかかり、現在も粛々と進行中でございます。詳細報告は誰かするのかな? 誰もしなかったときを考えるとちょっと怖いので、僕が軽くしておきます。1 月から 2 月の中旬の期末試験が終わる頃までに今後のおおよその方針を議論して固めつつ、サーバとドメインの移転を進めておりました。「なぜサーバを移転するのか」「別に今のままでいいんじゃないね」と思われる OB の方も多いと思いますので、弁明しておきますね。僕たちの言い分としては、

- 本来現役部員が利用するリソースを OB が管理するのはおこがましいのでは
- リソースの管理が細分化されていて TSG のリソースの全容が把握できない(サーバ、ドメイン、メーリス等々… 僕も把握しきっていません)

これでだいたい納得していただけるのではないかと。

というわけでまずは TSG ドメイン(tsg.ne.jp および tsg.jp)をなんと 1998 年から管理されているらしい TSG の OB である、2014 年現株式会社インセプト(<http://www.incept.co.jp>) 代表取締役の齊藤文彦様にご連絡させていただきました。紆余曲折の結果、ドメインを現役部員で管理するのは金銭的に厳しそうという結論に至り、サーバをさくらの DNS に移転し、ドメインは引き続き齊藤様に管理していただくという形になりました。改めて感謝でございます。どのリソースを誰が管理しているかという点も明示化して次代に引き継ぎして参りたいと思っております。今ちょっと連絡が止まってしまっているのはメーリスの方なのですが、こちらは僕があまりに忙しいという事情があるので、新年度に入って落ち着いてからということになりそうです。

その後、2014 年 2/20 に開催されたケーキコンパで、今年はなんとサーバのセットアップというなんともいえないイベントを僕が同時開催してしまいまして(銀行振込のタイミングがギリギリで間に合った)、どうやら例年のケーキコンパとは異なった異様な雰囲気になっていたらしいですね(参加されていた OB 各位、申し訳ありません)。ここでは最近はやりの wordpress と、みんなだいすき redmine をインストールしました。wordpress については、今ちょっと手が回っていませんが、redmine はサーバのセットアップ関連や新歓関連のチケットで多いに活

用しておりますね。

そして、3/6にもう一度現役部員で顔合わせをして、Skypeでリモート連絡をとりながら各個人で作業を進めております。とはいえ、TSG部員は基本的にサークルを掛け持ちしている部員が多いため、リソースを完全にTSGに注ぎ込めないというのもまた実情。まあでも、各個人の得意方面やスケジュールを鑑みながら全体としての計画を進めているところでございます。最近の進捗で著しく目覚ましいのは、なんといっても公式サイトの一新だと思われます。基本的に古い情報をうまくアーカイブ化しながら、デザインを非常にスタイリッシュにしております。新歓期にはデブレイされるとお思いますので、乞うご期待！

さて、「軽く触れる」とか言っておきながらぶっちゃけ8割くらい触れてしまいましたが、そろそろ謝辞に入りたいと思います。まずはTSGのOBの皆様へ感謝でございます。卒業されてから何年も(ひょっとすると何十年も?)経っているにもかかわらずコミットし続けるその姿には感銘を受けてしまうばかりです。このOBが参画し続けられる土壌を、今年度の改革でよりよくできていけたらと思う次第でございます。そして、今回の改革の途中でご協力賜ったOBの皆様にも感謝でございます。現役部員のひょんな思いつきにここまで付き合ってください、本当になんといってお礼を申し上げたいのかわからない程です。ご恩に報いるためにも、上述の通り、OBの方がより円滑に参画できる何かをTSGの活動に盛り込めたいのかなど画策している次第でございます。

最後に、忘れてはならないのが、同期のTSG部員です。RoboTechと掛け持ちながらしかしコンパの予約を正確に済ませ開催するコンパ長小林、3月から忙しすぎてぶっ倒れている僕の跡を継いで進めてくれている会計小関、部報編集という実は一番面倒なのではないかと思われる役職を否応なく引き受けてくれているコンパイラ村井、有り余る熱意から一大学生が趣味で作り出したとは思えない程スタイリッシュなサイトを仕上げってしまった高橋、そして我が儘な僕が部長職から逃げて最終的に部長の椅子に座ることになってしまったにもかかわらず、その役職をきちんとこなしてくれている内蔵、すべての現役部員に感謝です!(なんだか感動の最終回みたいな展開になっていますが、現役部員の活動はまだまだこれからですw)

さて、追いコン号っぽいことも書かねばなあということで(実はここまでが前書きだったというアレ)、僕の今の身の上をちょっと話したいと思います。僕はTSG以外に二つ音楽系のサークルを兼サーしております、Web・スマホ系のプログラミングのバイトもやっております。ここまで聞いて「こいつ生きてんのか…?」と思われるかもしれませんが、はい。倒れています。実は3月が

- 3/11?3/12 東北一人旅
- 3/16?3/20 サークルの合宿
- 3/21?3/23 バイトのデスマ(12h/dayくらい)
- 3/23?3/25 クラス旅行(しながらバイト)(一日一食とか)
- 3/25?3/26 納期直前のデスマ(18h/dayでヨーグルト2つで凌いだ)
- 3/27 あっ(察し)

そんな調子でここ3日ぶっ倒れています。あ、ちなみにこれ書いている今日がJSTで3/29 09:00頃です。3/27の日は一日中寝てました。というか体を起こした姿勢が維持できないほどつらかったです。3/28にようやく歩けるようになって、病院にいったとかそんな感じです。

で、これで何が言いたいかというと、

1. お仕事は、計画的に
2. 無理、しないでね?

追いコン号によせて

の2点につきます。こんなことをやらかした僕が言うのも説得力に欠けますが、実際に極限状態では人間の判断力というのは正常さを欠いてしまうものです。ただ、その極限状態に陥る前に必ず脳が「この状況はおかしいんじゃないか？」という危険信号を出しているはずですが、その信号を無視し続け、自分から危険な極限状態に陥って、こんな残念な結果にならないように気をつけてください。僕は社会人というものを経験したことがないのでまだよくわかりませんが、社会人になりたてのときってそういうことが起こりやすかったりするんじゃないでしょうか。憶測ですけど。ちなみに、3月は充実はしました。こんなことは二度とやりたくないですが。

おっと、今コンパイルしてみたら A4 で文字サイズ 11pt で PDF3 ページ目に突入してますね。そろそろ自重しないと自分のとこだけ浮きそうなので、この辺で筆（というかキーボードか）を置きたいと思います。最後までこのような駄文に付き合ってください方、ありがとうございます。僕は疲れたので、再び眠りにつきたいと思います。

```
#!/usr/bin/env python
import time
time.sleep(60*24*3)
```

あー Objective-C 減んでくれないかなー …

編集後記

semiexp 今度は部報の発行を忘れてしまうところでした(すみません). 原稿を書いてくださった方, ありがとうございます.

現在 HP には, 部報が一部しかないようです(12 年近くブランクがある). HP の使い方を理解したら, 手元にある(上の代から引き継いだデータにある)部報を HP 上で公開する予定です.

理論科学グループ 部報 第 307 号

2014 年 4 月 3 日 発行

発行者 内藏理史

編集者 村井翔悟

発行所 理論科学グループ

〒153-0041 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学教養学部内学生会館 313B

Telephone: 03-5454-4343

©Theoretical Science Group, University of Tokyo, 2014.

All rights reserved.

Printed in Japan.

理論科学グループ部報 第 307 号
— 2014 年追いコン号 —
2014 年 4 月 3 日

THEORETICAL SCIENCE GROUP